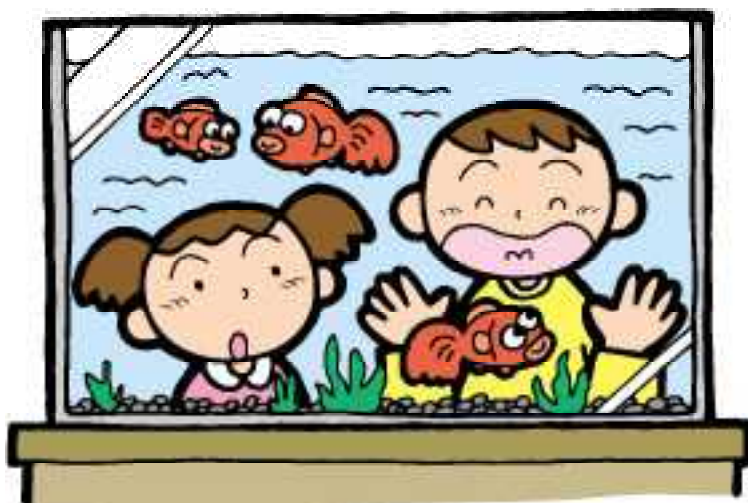


きた こ すい ぞく かん

北っ子水族館のなかま

60cm水そう③
の仲間たちを
紹介しましょう



60センチ水そう③の様子です

主役は、なんといっても
ゲンゴロウ(コガタノゲンゴロウ)です。
カダヤシやタニシもいます。

コガタノゲンゴロウ



< 説明 >

体長24～30mm

絶滅危惧種（ぜつめつきぐしゅ）

かつては平地～低山地にかけてふつうに見られた種といわれているが、現在ほとんど見られない。

主に休耕田、水田わきの水路、ため池などに生息している。佐賀県でも、発見されたという報告がまれにある程度で大変めずらしい。

泳ぎ方はきびんですばしっこい。

小魚やミミズなどを食べる。

ゲンゴロウ(コガタノゲンゴロウ)は、学校の人気者です。現在、2匹います。体長は3センチあります。水そうの中を元気よく動きまわっています。ミミズを与えると群がるようにして食べます。



水草の根元に顔をっこんでえさ探しをしたり、水草につかまって休んだりしています。

後ろ足を上手につかって、いきおいよく泳ぐ姿は、平泳ぎをしているようにみえます。



ハイイロゲンゴロウ



- 分布：本州から八重山諸島～朝鮮・東南アジア・アフリカ・アメリカ
- 全長：14mm
- 体が灰色かかった色彩のゲンゴロウです。普通に見られる種類です。

カダヤシ



- 全長はオス3cm、メス5cmほどで、メスのほうが大きい。
- 外見はメダカによく似る。カダヤシの尾びれは丸く、メダカの尾びれは角ばっている。また、メダカの尻びれがオスメスとも横長の四角形なのに対し、カダヤシはメスの尻びれが縦長で小さく、オスの尻びれは細長い。
- カダヤシのもともとの分布域はミシシッピ川流域を中心とした北アメリカ中部だが、ボウフラを食べ、また水質浄化に役立つとして移入された。